

# 会 議 等 報 告 書

1 会議等名	糸島市地域公共交通会議（第17回）
2 開催日時	平成28年8月31日（水） 15時00分 ~ 16時10分
3 開催場所	糸島市役所 本館3階 庁議室
4 出席者	別紙のとおり
5 協議事項	<p>（1）糸島市地域公共交通網形成計画策定に係るアンケート調査について 事務局より、アンケート調査の概要について説明（別紙資料 P3～P24 参照）</p> <p>1. 市政モニターアンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・6ページの把握項目「公共交通のあり方に対する考え」と「現在の公共交通に対する評価」はどう違うのか。各項目に対する5段階評価とはどのようなものか（委員） 違いについて、「あり方に対する考え」とは、そもそも公共交通とはどのようなものを重視すべきものかという考え方を尋ねるもので、評価については、現時点の糸島市の公共交通に対する評価について尋ねるものである。また、5段階評価については、公共交通のあり方についての設問に対しては、「最も重要である」「重要である」「普通」「あまり重要ではない」「重要ではない」というイメージであると考えている。（事務局）</li><li>・市政モニター登録者の居住地（校区等）や年齢構成等の属性については把握できているのか。（委員） 年齢については把握できているが、居住地については糸島市内かそれ以外かという情報しか把握できていない。アンケートの設問の中で把握していきたい。（事務局）</li><li>・なるべくまんべんなく糸島市をカバーする調査方法を取る必要がある。160票という票数はニーズを把握するにはギリギリの数と思うため、調査方法を検討していただきたい。（委員）</li><li>・サンプル数の確保のためにホームページを活用したアンケート調査も行うということだが、地域によって偏りがないような調査をお願いしたい。（委員） 調査方法については、委託業者と協議して検討したい。（事務局）</li></ul>

5 協議事項

・通勤、通学、買い物に関するアンケートの対象者は同じ市政モニター登録者の160人となっているが、重複するのか。(委員)

同じ登録者であるため、重複することとなる。それ以外のサンプル数を増やすために広報いとしまでアンケート調査について周知し、市のホームページで回答できるようにすることによりサンプル数を確保していきたい。(事務局)

・いずれの委員のご意見も市民のニーズを十分に把握するためのものであると考える。サンプル数の確保については、事務局で十分に検討するように。サンプル数確保については、事務局に一任することで良いか。(会長)

委員了承。

・アンケートが健常者に偏ると問題である。後期高齢者など移動が困難な人、いわゆる交通弱者のニーズも十分に把握する必要がある。また、子育て世代についても、専業主婦(主夫)として子育てをしている人だけではなく、仕事をしながら子育てをしている人のニーズも十分に把握する必要がある。困っている人の意見を十分に反映できるような調査の仕組みを検討してもらいたい。(委員)

委託業者と協議を行い、市民のニーズを十分に把握できるような調査となるように検討したい。(事務局)

・アンケート調査だけではなく、シニアクラブ等の会合に参加し、意見交換を行うなど生の声を聞く必要があるのではないか。(委員)

意見交換等の方法についても検討したい。(事務局)

・網形成計画を作成するにあたって、アンケート調査を行いその結果を計画に盛り込んでいく必要があると考えるが、市民ニーズのすべてを公共交通で満たすことは困難であると考え。網形成計画は公共交通のマスタープランであるため、事務局側も公共交通の将来像をある程度描きながらアンケート調査を行う必要があるのではないか。(委員)

・網形成計画の作成にあたっては、交通手段によつての役割分担についても検討する必要がある。「現在の公共交通に対する評価」の設問では、交通手段ごとに調査をする必要があるのではないか。(委員)

設問内容について検討したい。(事務局)

・市内の高齢者の分布をまず把握する必要がある。その分布の上にアンケートをかぶせることによって地域ごとの状況やニーズをより詳細に把握することができると考える。高齢者の分布等のデータはあるのか。(委員)

高齢者の分布については、糸島市でデータとして持っている。(事務局)

・データで把握できる部分、アンケート調査で把握が必要な部分、生の声を聞く必要がある部分について事務局できちんと整理をした上で調査を行うように。(会長)

## 2. 行政区長アンケート調査

・行政区長アンケートについては、区長が地域の高齢者の意見を聞いてアンケートの回答をするということか。(委員)

そのように考えている。事務局が校区区長会に出向き、地域の高齢者の移動実態を区長が把握した上で回答していただく旨を説明する予定である。(事務局)

5 協議事項

・高齢者関連事故を減らすために免許証の自主返納を増やす取り組みが必要である。公共交通がどのようになれば免許証を返納するのかという視点も盛り込んでもらいたい。(委員)

・公共交通の不満点や改善要望については、誰の意見を書くのか。高齢者の意見か区長の意見か。区長が高齢者の意見を書くのは難しいのではないか。どうしても区長の意見になるのではないか。(委員)

・シニアクラブにもアンケート調査を依頼してはどうか。(委員)

高齢者の移動実態や公共交通に対するニーズ把握については、事務局で再検討するように。区長アンケートの内容についても検討すること。(会長)

・現在提案されているアンケートは公共交通利用の有無に関わらずに市民のニーズを把握する内容となっており、利用者限定したものがない。利用者促進のためには公共交通の利用者(ヘビーユーザー)の声も拾うことが必要。(委員)

利用者の意見を聞く調査についても必要と考える。今後検討していきたい。(事務局)

・この会議には、昭和自動車からも委員として参加していただいている。利用者アンケート調査について事業者としてご協力いただくことは可能か。(委員)

調査に協力することは可能である。(委員)

3. 子育て支援センター利用者アンケート調査

・仕事をしているかどうかによって移動ニーズも違うのではないかと考える。把握することは可能か。(委員)

設問に盛り込むことにより把握したい。(事務局)

4. 大学生アンケート

5. 九州大学教職員アンケート調査

・糸島市に居住している九大生200人となっているが、サンプル数は確保できるのか。(委員)

地域振興課の定住・学研都市係と連携してサンプル数を確保したい。また、九大の大枝委員にもご協力いただければと考えている。(事務局)

・九大生アンケートについては、学年を尋ねるようにした方が良い。学年によって学校に通う生活パターンが違う。(委員)

対応したい。(事務局)

・アンケート調査の内容等については、委員の皆さんから色々な意見をいただいた。事務局はいただいた意見を踏まえてアンケート調査について再検討すること。また、アンケート調査については、今回の会議で出た意見を反映させるということで事務局に一任いただきたい。(会長)

(2) 九大線桂木バス停の移設について(P25~P26)

事務局より、桂木バス停の移設について説明。

・今回の移設はわずか10メートルであるが、バス停の移設については移動距離に関わらず会議にかける必要があるのか。(委員)

<p>5 協議事項</p>	<p>福岡運輸支局への届出の際に、公共交通会議で承認をいただいた証明書を添付する必要があるため、距離に関わらず必要である。(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のバス停の移設は工事に伴うものということだが、工事が終了すれば元に戻すのか。(委員)</li> </ul> <p>現在のバス停位置は、学生寮の車両出入口にあたるため、工事が終了しても元には戻さない。(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生寮の完成時期はいつごろか。学生寮ができればこのバス停を通る系統の増便をする必要があるのではないか。(委員)</li> </ul> <p>完成時期については、把握していない。最新の情報を把握しながら検討していきたい。(事務局)</p> <p style="text-align: center;">(原案どおり承認)</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の会議日程について調整したい。(事務局)</li> </ul> <p>日程調整の結果、11月21日(月)15時から次回の会議を開催することに決定。</p>
<p>6 決定事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査については、今回の会議の意見を反映させることで事務局に一任</li> <li>・桂木バス停移設について承認</li> <li>・次回の会議開催は、平成28年11月21日(月)15時から。会場は後日連絡。</li> </ul>
<p>7 懸案事項</p>	<p>特になし。</p>

# 糸島市地域公共交通会議【第17回】

平成28年8月31日(水) 15時～  
糸島市役所 本館3階 庁議室

委員出欠 別紙「委員名簿」(P2)参照

1 会長あいさつ

2 経過報告

3 協 議

(1) 糸島市地域公共交通網形成計画策定に係るアンケート調査について

(P3～24)

別紙資料参照

【事務局説明】

(2) 九大線 桂木バス停の移設について(P25～26)

別紙資料参照

【事務局説明】

(3) その他

次回会議; 11月 日( ) 15:00～  
(予定協議案件)  
公共交通に関するアンケート結果について

# 糸島市地域公共交通会議委員名簿(敬称略)

平成28年8月31日開催

	氏名	所属・役職	規程 第3条	出欠、代理出席
会長	馬場 貢	糸島市 企画部長	糸島市長又はその指名する者	
副会長	柚木 利道	糸島市行政区長会 会長	市民代表	
委員	小島 裕之	昭和自動車株式会社 自動車事業本部 課長	一般乗合旅客自動車運 送事業者	代理出席 白津 重範
委員	森田 秀規	昭和自動車株式会社 タクシー事業部 福岡西部事業所 所長	一般旅客自動車運送事 業者	
委員	小山 登	一般社団法人福岡市タクシー協会 常務理事	旅客自動車運送事業者 の団体	
委員	友池 隆	糸島市シニアクラブ連合会 会長	市民代表	
委員	西 正博	九州運輸局 福岡運輸支局長	九州運輸局長又はその 指名する者	代理出席 河津 隆幸 (首席運輸企画専門官)
委員	池川 寿美	昭和自動車株式会社 バス乗務員代表	一般旅客自動車運送事業 者の事業用自動車の運転 者が組織する団体	
委員	大枝 良直	九州大学大学院 工学研究院 環境都市部門 准教授	学識経験を有する者	
委員	堺 裕之	福岡県 企画・地域振興部 交通政策課 交通総務係長	その他市長が必要と認め る者	
委員	中村 智	福岡県 糸島警察署 交通課長	糸島警察署長又はその 指名する者	
委員	林田 雄二	福岡国道事務所 福岡西維持出張所長	市内に存する道路の道路管理 者又はその指名する者	代理出席 長谷場 氏
委員	酒井 一郎	福岡県福岡県土整備事務所 前原支所 庶務課長	市内に存する道路の道路管理 者又はその指名する者	
委員	友池 光洋	糸島市 建設都市部 建設課長	市内に存する道路の道路管理 者又はその指名する者	
委員	林 良典	糸島市 建設都市部 都市計画課長	その他市長が必要と認め る者	

<任期> 平成28年2月12日～平成30年2月11日

<オブザーバー>


<事務局>

阿部 聡寛	糸島市 企画部 地域振興課長
岡崎 正幸	糸島市 企画部 地域振興課 課長補佐兼公共交通係長
木村 直人	糸島市 企画部 地域振興課 公共交通係 主査

## アンケート調査の概要

本市では多様な移動需要の存在が予想されるため、各移動需要を的確に把握するために、各主体に焦点を絞ったニーズ把握調査を実施する。以下に糸島市で想定される移動需要の各主体と本業務で実施する各種調査の対応関係を示す。

移動需要の主体	本業務で実施する調査
通勤者 (特に福岡市への通勤者)	<b>通勤に関する市政モニターアンケート調査</b> 調査目的: 通勤移動実態や公共交通に対するニーズの把握 結果の活用: 通勤需要に対応した公共交通ネットワーク及びサービスの検討の基礎データ
通学者 (特に福岡市への通学者)	<b>通学に関する市政モニターアンケート調査</b> 調査目的: 通学移動実態や公共交通に対するニーズの把握 結果の活用: 通学需要に対応した公共交通ネットワーク及びサービスの検討の基礎データ
買物・通院等外出者	<b>買物・通院等に関する市政モニターアンケート調査</b> 調査目的: 買物や通院、その他外出の移動実態や公共交通に対するニーズの把握 結果の活用: 買物・通院等需要に対応した公共交通ネットワーク及びサービスの検討の基礎データ
高齢者	<b>行政区長アンケート調査</b> 調査目的: 高齢者の移動実態や公共交通に対するニーズの把握 結果の活用: 高齢者の移動需要に対応した公共交通ネットワーク及びサービスの検討の基礎データ
子育て世帯	<b>子育て支援センター利用者アンケート調査</b> 調査目的: 子育て世帯の移動実態や公共交通に対するニーズの把握 結果の活用: 子育て世帯の移動需要に対応した公共交通ネットワーク及びサービスの検討の基礎データ
市内在住の九州大学の学生及び教職員の学生及び教職員	<b>大学生アンケート調査</b>
	<b>九州大学教職員アンケート調査</b> 調査目的: 九州大学の学生及び教職員の日常生活の移動実態や公共交通に対するニーズの把握 結果の活用: 九州大学の学生及び教職員の移動需要に対応した公共交通ネットワーク及びサービスの検討の基礎データ

## 1. 市民モニター活用調査

### 1) 通勤に関する市政モニターアンケート調査

市民の通勤移動実態や公共交通に対するニーズを把握するために、市政モニターに登録している18～64歳の市民160人を対象としたアンケート調査を実施し、必要な分析を実施する。

なお、調査結果については、公共交通ネットワークの検討、公共交通のサービス水準の検討、糸島市における公共交通のあり方の検討等に活用する。

通勤に関する市政モニターアンケート調査の概要案を以下に示す。

[通勤に関する市政モニターアンケート調査(案)]

項目	概要	
時期	9月中旬～10月上旬	
対象	市政モニターに登録している18～64歳の市民160人 (目標サンプル数:140票、回収率:90%(H26年度第2回アンケート実績))	
調査方法	市政モニターアンケートを活用(webアンケート)	
把握項目	移動特性	・通勤先と移動手段、勤務頻度(非常勤が対象)、出勤曜日(非常勤が対象)、通勤時間帯 など
	公共交通の利用状況	・公共交通の利用の有無(天候別)、利用機関、移動経路 など
	公共交通に対するニーズ	・公共交通を利用している場合 不満点、改善要望 ・公共交通を利用していない場合 利用しない理由 など
	公共交通に対する考え	・これまでの公共交通に関する取り組みに対する評価 ・今後の公共交通のあり方についての意見 など
	その他	・公共交通に関する自由意見 など
	属性	・居住地、性別、年齢、運転免許・自家用車の保有状況 など

表 設問項目と分析の視点等 ( 1 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
市民の通勤状況	居住地	・対象者の居住地を町丁目単位で把握	・居住地と通勤先、現状の交通手段などを分析することで、市民の通勤移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	通勤先	・通勤先を把握	・居住地と通勤先、現状の交通手段などを分析することで、市民の通勤移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	通勤頻度	・通勤先への頻度を把握（非常勤対象）	・利用頻度が高い外出の状況などを分析することで、路線の見直し等を検討する際の基礎データとして活用
	通勤曜日	・通勤する曜日を把握（非常勤対象）	・平日、土曜日、日曜日それぞれの移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	通勤時間帯	・通勤先への出発時間、帰宅時間を把握	・時間帯別の移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	最も利用する交通手段	・それぞれの通勤先への交通手段を把握	・居住地と通勤先、現状の交通手段などを分析することで、市民の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
公共交通の利用状況、公共交通に対する不満や改善要望	公共交通利用の有無と利用頻度	・直近 1 ヶ月間の公共交通利用の有無を把握 ・公共交通利用者の利用頻度を把握（天候別）	・公共交通利用の有無と利用頻度を分析することで、市民の公共交通に対するニーズを概括的に把握するとともに、サービスの見直し等の重要度を検討する際の基礎データとして活用
	利用する公共交通機関	・前述の通勤時に利用する公共交通機関及び駅・バス停を把握	・公共交通利用者の移動経路を分析することで、市民の移動特性を把握するとともに、乗り継ぎ拠点整備の重要度や鉄道・路線バスなどの幹線系統へのアクセス手段確保を検討する際の基礎データとして活用
	利用駅・バス停までのアクセス手段	・利用する駅・バス停までの交通手段を把握	
	公共交通利用時の不満点や改善要望	・公共交通利用者の、公共交通を利用するにあたっての不満や改善揺動を把握	・公共交通を利用している人の不満を分析することで、公共交通の問題点・課題整理やサービス改善策検討の基礎データとして活用
	公共交通非利用の理由	・公共交通非利用者の、公共交通を利用しない理由を把握	・公共交通を利用しない人の公共交通を利用しない理由を分析することで、公共交通の問題点・課題整理や利用促進策検討の基礎データとして活用

表 設問項目と分析の視点等 ( 2 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
公共交通のあり方に対する考え	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通	・各項目に対する必要性を 5 段階評価で把握	・糸島市における公共交通の必要性に対する考えを分析することで、今後の公共交通のあり方検討の基礎データとして活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通		
現在の公共交通に対する評価	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通に対する評価	・各項目について 5 段階評価で把握 「現在の公共交通サービスは、通勤・通学や買物、通院など日常生活の移動に対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、高齢者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、福岡都市圏への移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、観光客等の来街者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「市中心部へのアクセスについて、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 「市中心部内の回遊について、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 そう思う ややそう思う よくわからない あまりそう思わない 全くそう思わない	・現状の公共交通に対する評価を得ることで、今後の公共交通における課題を把握する際の基礎データとして活用 ・また、網形成計画の数値指標の現況値として活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通に対する評価		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通に対する評価		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通に対する評価		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通に対する評価		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通に対する評価		
	市内の公共交通サービスに対する満足度		
その他	その他公共交通に対する意見	・市内の公共交通に対する自由意見を把握	・公共交通に対する市民の意見を分析することで、公共交通の問題点・課題や今後の公共交通のあり方を検討する際の基礎データとして活用

## 2) 通学に関する市政モニターアンケート調査

高校生・大学生の通学移動実態や公共交通に対するニーズを把握するために、市政モニターに登録している15～22歳の高校生・大学生160人を対象としたアンケート調査を実施し、必要な分析を実施する。

なお、調査結果については、公共交通ネットワークの検討、公共交通のサービス水準の検討、糸島市における公共交通のあり方の検討等に活用する。

通学に関する市政モニターアンケート調査の概要案を以下に示す。

[通学に関する市政モニターアンケート調査(案)]

項目	概要	
時期	9月中旬～10月上旬	
対象	市政モニターに登録している15～22歳の高校生・大学生および登録者の家族160人 (目標サンプル数:140票、回収率:90%(H26年度第2回アンケート実績))	
調査方法	市政モニターアンケートを活用(webアンケート)	
把握項目	移動特性	・通学先と移動手段、休日の登校状況、通学時間帯 など
	公共交通の利用状況	・公共交通の利用の有無(天候別)、利用機関、移動経路 など
	公共交通に対するニーズ	・公共交通を利用している場合 不満点、改善要望 ・公共交通を利用していない場合 利用しない理由 など
	公共交通に対する考え	・これまでの公共交通に関する取り組みに対する評価 ・今後の公共交通のあり方についての意見 など
	その他	・公共交通に関する自由意見 など
	属性	・居住地、性別、年齢、運転免許・自家用車の保有状況 など

表 設問項目と分析の視点等 ( 1 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
市民の通学の状況	居住地	・対象者の居住地を町丁目単位で把握	・居住地と通学先、現状の交通手段などを分析することで、市民の通学移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	通学先	・通学先を把握	・居住地と通学先、現状の交通手段などを分析することで、市民の通学移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	通学曜日	・通学する曜日を把握（休日の通学の有無）	・平日、土曜日、日曜日それぞれの移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	通学時間帯	・通学先への出発時間、帰宅時間を把握	・時間帯別の移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	最も利用する交通手段	・それぞれの通学先への交通手段を把握	・居住地と通学先、現状の交通手段などを分析することで、市民の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
公共交通の利用状況、公共交通に対する不満や改善要望	公共交通利用の有無と利用頻度	・直近 1 ヶ月間の公共交通利用の有無を把握 ・公共交通利用者の利用頻度を把握（天候別）	・公共交通利用の有無と利用頻度を分析することで、市民の公共交通に対するニーズを概括的に把握するとともに、サービスの見直し等の重要度を検討する際の基礎データとして活用
	利用する公共交通機関	・前述の通学時に利用する公共交通機関及び駅・バス停を把握	・公共交通利用者の移動経路を分析することで、市民の移動特性を把握するとともに、乗り継ぎ拠点整備の重要度や鉄道・路線バスなどの幹線系統へのアクセス手段確保を検討する際の基礎データとして活用
	利用駅・バス停までのアクセス手段	・利用する駅・バス停までの交通手段を把握	
	公共交通利用時の不満点や改善要望	・公共交通利用者の、公共交通を利用するにあたっての不満や改善揺動を把握	・公共交通を利用している人の不満を分析することで、公共交通の問題点・課題整理やサービス改善策検討の基礎データとして活用
	公共交通非利用の理由	・公共交通非利用者の、公共交通を利用しない理由を把握	・公共交通を利用しない人の公共交通を利用しない理由を分析することで、公共交通の問題点・課題整理や利用促進策検討の基礎データとして活用

表 設問項目と分析の視点等 ( 2 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
公共交通のあり方に対する考え	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通	・各項目に対する必要性を 5 段階評価で把握	・糸島市における公共交通の必要性に対する考えを分析することで、今後の公共交通のあり方検討の基礎データとして活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通		
現在の公共交通に対する評価	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通に対する評価	・各項目について 5 段階評価で把握 「現在の公共交通サービスは、通勤・通学や買物、通院など日常生活の移動に対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、高齢者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、福岡都市圏への移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、観光客等の来街者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「市中心部へのアクセスについて、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 「市中心部内の回遊について、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 そう思う ややそう思う よくわからない あまりそう思わない 全くそう思わない	・現状の公共交通に対する評価を得ることで、今後の公共交通における課題を把握する際の基礎データとして活用 ・また、網形成計画の数値指標の現況値として活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通に対する評価		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通に対する評価		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通に対する評価		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通に対する評価		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通に対する評価		
	市内の公共交通サービスに対する満足度		
その他	その他公共交通に対する意見	・市内の公共交通に対する自由意見を把握	・公共交通に対する市民の意見を分析することで、公共交通の問題点・課題や今後の公共交通のあり方を検討する際の基礎データとして活用

### 3) 買物・通院等に関する市政モニターアンケート調査

市民の買物や通院、その他私用等の外出における移動実態や公共交通に対するニーズを把握するために、市政モニターに登録している18歳以上の市民200人を対象としたアンケート調査を実施し、必要な分析を実施する。

なお、調査結果については、公共交通ネットワークの検討、公共交通のサービス水準の検討、糸島市における公共交通のあり方の検討等に活用する。

買物・通院等に関する市政モニターアンケート調査の概要案を以下に示す。

[買物・通院等に関する市政モニターアンケート調査(案)]

項目	概要	
時期	9月中旬～10月上旬	
対象	市政モニターに登録している18歳以上の市民160人 (目標サンプル数:140票、回収率:90%(H26年度第2回アンケート実績))	
調査方法	市政モニターアンケートを活用(webアンケート)	
把握項目	移動特性	・外出目的、外出先と移動手段、外出頻度、外出曜日、外出時間帯 など
	公共交通の利用状況	・公共交通の利用の有無(天候別)、利用機関、移動経路 など
	公共交通に対するニーズ	・公共交通を利用している場合 不満点、改善要望 ・公共交通を利用していない場合 利用しない理由 など
	公共交通に対する考え	・これまでの公共交通に関する取り組みに対する評価 ・今後の公共交通のあり方についての意見 など
	その他	・公共交通に関する自由意見 など
	属性	・居住地、性別、年齢、運転免許・自家用車の保有状況 など

表 設問項目と分析の視点等 ( 1 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
市民の日常的な外出・移動の状況	居住地	・対象者の居住地を町丁目単位で把握	・居住地と外出先、現状の交通手段などを分析することで、市民の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	外出先	・外出目的別（買物、病院、その他私用）に外出先（施設）を把握	・居住地と外出先、現状の交通手段などを分析することで、市民の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	外出頻度	・それぞれの外出先への外出頻度を把握	・利用頻度が高い外出の状況などを分析することで、路線の見直し等を検討する際の基礎データとして活用
	外出曜日	・それぞれの外出先へよく外出する曜日を把握	・平日、土曜日、日曜日それぞれの移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	外出時間帯	・それぞれの外出先への出発時間、帰宅時間を把握	・時間帯別の移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	最も利用する交通手段	・それぞれの外出先への交通手段を把握	・居住地と外出先、現状の交通手段などを分析することで、市民の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
公共交通の利用状況、公共交通に対する不満や改善要望	公共交通利用の有無と利用頻度	・直近 1 ヶ月間の公共交通利用の有無を把握 ・公共交通利用者の利用頻度を把握	・公共交通利用の有無と利用頻度を分析することで、市民の公共交通に対するニーズを概括的に把握するとともに、サービスの見直し等の重要度を検討する際の基礎データとして活用
	公共交通を利用した外出の目的地と外出目的	・公共交通を利用する際の外出で最もよく行く目的地とその際の外出目的を把握	・公共交通利用者の外出特性を分析することで、市民の公共交通に対するニーズの傾向を把握する際の基礎データとして活用
	利用する公共交通機関	・前述の外出時に利用する公共交通機関及び駅・バス停を把握	・公共交通利用者の移動経路を分析することで、市民の移動特性を把握するとともに、乗り継ぎ拠点整備の重要度や鉄道・路線バスなどの幹線系統へのアクセス手段確保を検討する際の基礎データとして活用
	利用駅・バス停までのアクセス手段	・利用する駅・バス停までの交通手段を把握	
	公共交通利用時の不満点や改善要望	・公共交通利用者の、公共交通を利用するにあたっての不満や改善揺動を把握	・公共交通を利用している人の不満を分析することで、公共交通の問題点・課題整理やサービス改善策検討の基礎データとして活用
	公共交通非利用の理由	・公共交通非利用者の、公共交通を利用しない理由を把握	・公共交通を利用しない人の公共交通を利用しない理由を分析することで、公共交通の問題点・課題整理や利用促進策検討の基礎データとして活用

表 設問項目と分析の視点等(2/2)

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
公共交通のあり方に対する考え	買物、通院などくらしの足を支える公共交通	・各項目に対する必要性を5段階評価で把握	・糸島市における公共交通の必要性に対する考えを分析することで、今後の公共交通のあり方検討の基礎データとして活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通		
現在の公共交通に対する評価	買物、通院などくらしの足を支える公共交通に対する評価	・各項目について5段階評価で把握 「現在の公共交通サービスは、通勤・通学や買物、通院など日常生活の移動に対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、高齢者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、福岡都市圏への移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、観光客等の来街者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「市中心部へのアクセスについて、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 「市中心部内の回遊について、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 そう思う ややそう思う よくわからない あまりそう思わない 全くそう思わない	・現状の公共交通に対する評価を得ることで、今後の公共交通における課題を把握する際の基礎データとして活用 ・また、網形成計画の数値指標の現況値として活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通に対する評価		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通に対する評価		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通に対する評価		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通に対する評価		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通に対する評価		
	市内の公共交通サービスに対する満足度		
その他	その他公共交通に対する意見	・市内の公共交通に対する自由意見を把握	・公共交通に対する市民の意見を分析することで、公共交通の問題点・課題や今後の公共交通のあり方を検討する際の基礎データとして活用

## 2 . 行政区長アンケート調査

高齢者の移動実態や公共交通に対するニーズを把握するために、行政区長 162 人を対象としたアンケート調査を実施し、必要な分析を実施する。

なお、調査結果については、公共交通ネットワークの検討、公共交通のサービス水準の検討、糸島市における公共交通のあり方の検討等に活用する。

行政区長アンケート調査の概要案を以下に示す。

[行政区長アンケート調査(案)]

項目	概要	
時期	9月中旬～10月上旬	
対象	行政区長 162 人	
調査方法	行政区長が出席する会合等での配布、公民館・市を通じた回収	
把握項目	移動特性	・外出目的、外出先と移動手段、外出頻度、外出曜日、外出時間帯 など
	現在または今後想定される外出時の困りごと	・行きたい場所へ外出することができないといった不満 ・自家用車の運転への不安 ・家族等の送迎の確保への不安 ・身体上の理由等からの駅・バス停までのアクセスへの不安 など
	公共交通の利用状況	・公共交通の利用の有無(天候別)、利用機関、移動経路 など
	公共交通に対するニーズ	・公共交通を利用している場合 不満点、改善要望 ・公共交通を利用していない場合 利用しない理由 など
	公共交通に対する考え	・これまでの公共交通に関する取り組みに対する評価 ・今後の公共交通のあり方についての意見 など
	その他	・公共交通に関する自由意見 など
	属性	・居住地、性別、年齢、運転免許・自家用車の保有状況 など

表 設問項目と分析の視点等 ( 1 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
高齢者の日常的な外出・移動の状況	居住地	・対象者の居住地を町丁目単位で把握	・居住地と外出先、現状の交通手段などを分析することで、高齢者の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	外出先	・外出目的別（買物、病院、その他私用）に外出先（施設）を把握	・居住地と外出先、現状の交通手段などを分析することで、高齢者の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	外出頻度	・それぞれの外出先への外出頻度を把握	・利用頻度が高い外出の状況などを分析することで、路線の見直し等を検討する際の基礎データとして活用
	外出曜日	・それぞれの外出先へよく外出する曜日を把握	・平日、土曜日、日曜日それぞれの移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	外出時間帯	・それぞれの外出先への出発時間、帰宅時間を把握	・時間帯別の移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	最も利用する交通手段	・それぞれの外出先への交通手段を把握	・居住地と外出先、現状の交通手段などを分析することで、高齢者の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
現在または今後想定される外出時の困りごと	行きたい場所へ外出することができないといった不満	・各項目に対する不満・不安点を現在、今後それぞれ 5 段階評価で把握	・高齢者における、外出に対する現在、将来の不安点を分析することによって、公共交通の必要性の基礎データとして活用
	自家用車の運転への不安		
	家族等の送迎の確保への不安		
公共交通の利用状況、公共交通に対する不満や改善要望	公共交通利用の有無と利用頻度	・直近 1 ヶ月間の公共交通利用の有無を把握 ・公共交通利用者の利用頻度を把握	・公共交通利用の有無と利用頻度を分析することで、市民の公共交通に対するニーズを概括的に把握するとともに、サービスの見直し等の重要度を検討する際の基礎データとして活用
	公共交通を利用した外出の目的地と外出目的	・公共交通を利用する際の外出で最もよく行く目的地とその際の外出目的を把握	・公共交通利用者の外出特性を分析することで、市民の公共交通に対するニーズの傾向を把握する際の基礎データとして活用
	利用する公共交通機関	・前述の外出時に利用する公共交通機関及び駅・バス停を把握	・公共交通利用者の移動経路を分析することで、市民の移動特性を把握するとともに、乗り継ぎ拠点整備の重要度や鉄道・路線バスなどの幹線系統へのアクセス手段確保を検討する際の基礎データとして活用
	利用駅・バス停までのアクセス手段	・利用する駅・バス停までの交通手段を把握	
	公共交通利用時の不満点や改善要望	・公共交通利用者の、公共交通を利用するにあたっての不満や改善要望を把握	・公共交通を利用している人の不満を分析することで、公共交通の問題点・課題整理やサービス改善策検討の基礎データとして活用
	公共交通非利用の理由	・公共交通非利用者の、公共交通を利用しない理由を把握	・公共交通を利用しない人の公共交通を利用しない理由を分析することで、公共交通の問題点・課題整理や利用促進策検討の基礎データとして活用

表 設問項目と分析の視点等 ( 2 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
公共交通のあり方に対する考え	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通	・各項目に対する必要性を5段階評価で把握	・糸島市における公共交通の必要性に対する考えを分析することで、今後の公共交通のあり方検討の基礎データとして活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通		
現在の公共交通に対する評価	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通に対する評価	・各項目について5段階評価で把握 「現在の公共交通サービスは、通勤・通学や買物、通院など日常生活の移動に対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、高齢者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、福岡・北九州都市圏への移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、観光客等の来街者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「市中心部へのアクセスについて、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 「市中心部内の回遊について、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 そう思う ややそう思う よくわからない あまりそう思わない 全くそう思わない	・現状の公共交通に対する評価を得ることで、今後の公共交通における課題を把握する際の基礎データとして活用 ・また、網形成計画の数値指標の現況値として活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通に対する評価		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通に対する評価		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通に対する評価		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通に対する評価		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通に対する評価		
	市内の公共交通サービスに対する満足度		
その他	その他公共交通に対する意見	・市内の公共交通に対する自由意見を把握	・公共交通に対する市民の意見を分析することで、公共交通の問題点・課題や今後の公共交通のあり方を検討する際の基礎データとして活用

### 3. 子育て支援センター利用者アンケート調査

子育て世帯の移動実態や公共交通に対するニーズを把握するために、子育て支援センター（3ヶ所）で開催される子育て広場や子育て教室等の参加者200人を対象としたアンケート調査を実施し、必要な分析を実施する。

なお、調査結果については、公共交通ネットワークの検討、公共交通のサービス水準の検討、糸島市における公共交通のあり方の検討等に活用する。

子育て支援センター利用者アンケート調査の概要案を以下に示す。

[子育て支援センター利用者アンケート調査（案）]

項目	概要	
時 期	9月中旬～10月上旬	
対 象	子育て支援センター（3ヶ所）で開催される子育て広場や子育て教室等の参加者200人	
調査方法	子育て広場等での配布、子育て支援センター・市を通じた回収	
把握項目	移動特性	・外出目的、外出先と移動手段、外出頻度、外出曜日、外出時間帯 など
	現在または今後想定される外出時の困りごと	・なるべく自家用車は運転したくない（できるだけ安全に外出したい） ・こどもが成長した時の子どもの移動手段の心配 ・公共交通を複数人で利用する際の運賃が高くなることに対する不満 ・公共交通を子連れで利用することに対する周囲の反応に対する懸念（泣き声、ベビーカーなど） など
	公共交通の利用状況	・公共交通の利用の有無（天候別）、利用機関、移動経路 など
	公共交通に対するニーズ	・公共交通を利用している場合 不満点、改善要望 ・公共交通を利用していない場合 利用しない理由 など
	公共交通に対する考え	・これまでの公共交通に関する取り組みに対する評価 ・今後の公共交通のあり方についての意見 など
	その他	・公共交通に関する自由意見 など
	属性	・居住地、性別、年齢、運転免許・自家用車の保有状況、こどもの人数・年齢 など

表 設問項目と分析の視点等 ( 1 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
子育て世代の日常的な外出・移動の状況	居住地	・対象者の居住地を町丁目単位で把握	・居住地と外出先、現状の交通手段などを分析することで、子育て世代の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	外出先	・外出目的別（買物、病院、その他私用）に外出先（施設）を把握	・居住地と外出先、現状の交通手段などを分析することで、子育て世代の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	外出頻度	・それぞれの外出先への外出頻度を把握	・利用頻度が高い外出の状況などを分析することで、路線の見直し等を検討する際の基礎データとして活用
	外出曜日	・それぞれの外出先へよく外出する曜日を把握	・平日、土曜日、日曜日それぞれの移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	外出時間帯	・それぞれの外出先への出発時間、帰宅時間を把握	・時間帯別の移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	最も利用する交通手段	・それぞれの外出先への交通手段を把握	・居住地と外出先、現状の交通手段などを分析することで、子育て世代の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
現在または今後想定される外出時の困りごと	なるべく自家用車は運転したくない	・各項目に対する不満・不安点を現在、今後それぞれ5段階評価で把握	・子育て世代における、外出に対する現在、将来の不安点を分析することによって、公共交通の必要性の基礎データとして活用
	子どもが成長した時の子どもの移動手段の心配		
	公共交通を複数人で利用する際の運賃が高くなることに対する不満		
	公共交通を子連れで利用することに対する周囲の反応に対する懸念		
公共交通の利用状況、公共交通に対する不満や改善要望	公共交通利用の有無と利用頻度	・直近1ヶ月間の公共交通利用の有無を把握 ・公共交通利用者の利用頻度を把握	・公共交通利用の有無と利用頻度を分析することで、市民の公共交通に対するニーズを概括的に把握するとともに、サービスの見直し等の重要度を検討する際の基礎データとして活用
	公共交通を利用した外出の目的地と外出目的	・公共交通を利用する際の外出で最もよく行く目的地とその際の外出目的を把握	・公共交通利用者の外出特性を分析することで、市民の公共交通に対するニーズの傾向を把握する際の基礎データとして活用
	利用する公共交通機関	・前述の外出時に利用する公共交通機関及び駅・バス停を把握	・公共交通利用者の移動経路を分析することで、市民の移動特性を把握するとともに、乗り継ぎ拠点整備の重要度や鉄道・路線バスなどの幹線系統へのアクセス手段確保を検討する際の基礎データとして活用
	利用駅・バス停までのアクセス手段	・利用する駅・バス停までの交通手段を把握	
	公共交通利用時の不満点や改善要望	・公共交通利用者の、公共交通を利用するにあたっての不満や改善要望を把握	・公共交通を利用している人の不満を分析することで、公共交通の問題点・課題整理やサービス改善策検討の基礎データとして活用
	公共交通非利用の理由	・公共交通非利用者の、公共交通を利用しない理由を把握	・公共交通を利用しない人の公共交通を利用しない理由を分析することで、公共交通の問題点・課題整理や利用促進策検討の基礎データとして活用

表 設問項目と分析の視点等 ( 2 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
公共交通のあり方に対する考え	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通	・各項目に対する必要性を 5 段階評価で把握	・糸島市における公共交通の必要性に対する考えを分析することで、今後の公共交通のあり方検討の基礎データとして活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通		
現在の公共交通に対する評価	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通に対する評価	・各項目について 5 段階評価で把握 「現在の公共交通サービスは、通勤・通学や買物、通院など日常生活の移動に対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、高齢者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、福岡・北九州都市圏への移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、観光客等の来街者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「市中心部へのアクセスについて、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 「市中心部内の回遊について、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 そう思う ややそう思う よくわからない あまりそう思わない 全くそう思わない	・現状の公共交通に対する評価を得ることで、今後の公共交通における課題を把握する際の基礎データとして活用 ・また、網形成計画の数値指標の現況値として活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通に対する評価		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通に対する評価		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通に対する評価		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通に対する評価		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通に対する評価		
	市内の公共交通サービスに対する満足度		
その他	その他公共交通に対する意見	・市内の公共交通に対する自由意見を把握	・公共交通に対する市民の意見を分析することで、公共交通の問題点・課題や今後の公共交通のあり方を検討する際の基礎データとして活用

## 4 . 大学生アンケート調査

九州大学・伊都キャンパスの学生の移動実態や公共交通に対するニーズを把握するために、九州大学・伊都キャンパスに通学する学生のうちの糸島市居住者 200 人を対象としたアンケート調査を実施し、必要な分析を実施する。

なお、調査結果については、公共交通ネットワークの検討、公共交通のサービス水準の検討、糸島市における公共交通のあり方の検討等に活用する。

大学生アンケート調査の概要案を以下に示す。

[大学生アンケート調査（案）]

項目	概要	
時 期	10月中旬～11月上旬	
対 象	九州大学・伊都キャンパスに通学する学生のうちの糸島市居住者 200 人	
調査方法	九州大学の学生向けメールシステムの活用による配信・回収	
把握項目	移動特性	・外出目的、外出先と移動手段、外出頻度、外出曜日、外出時間帯 など
	公共交通の利用状況	・公共交通の利用の有無（天候別）、利用機関、移動経路 など
	公共交通に対するニーズ	・公共交通を利用している場合 不満点、改善要望 ・公共交通を利用していない場合 利用しない理由 など
	公共交通に対する考え	・これまでの公共交通に関する取り組みに対する評価 ・今後の公共交通のあり方についての意見 など
	その他	・公共交通に関する自由意見 など
	属性	・居住地、性別、年齢、運転免許・自家用車の保有状況、など

表 設問項目と分析の視点等 ( 1 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
市民の通学の状況	居住地	・対象者の居住地を町丁目単位で把握	・居住地と通学先、現状の交通手段などを分析することで、市民の通学移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	通学曜日	・通学する曜日を把握（休日の通学の有無）	・平日、土曜日、日曜日それぞれの移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	通学時間帯	・通学先への出発時間、帰宅時間を把握	・時間帯別の移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	最も利用する交通手段	・それぞれの通学先への交通手段を把握	・居住地と通学先、現状の交通手段などを分析することで、市民の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
公共交通の利用状況、公共交通に対する不満や改善要望	公共交通利用の有無と利用頻度	・直近 1 ヶ月間の公共交通利用の有無を把握 ・公共交通利用者の利用頻度を把握（天候別）	・公共交通利用の有無と利用頻度を分析することで、市民の公共交通に対するニーズを概括的に把握するとともに、サービスの見直し等の重要度を検討する際の基礎データとして活用
	利用する公共交通機関	・前述の通学時に利用する公共交通機関及び駅・バス停を把握	・公共交通利用者の移動経路を分析することで、市民の移動特性を把握するとともに、乗り継ぎ拠点整備の重要度や鉄道・路線バスなどの幹線系統へのアクセス手段確保を検討する際の基礎データとして活用
	利用駅・バス停までのアクセス手段	・利用する駅・バス停までの交通手段を把握	
	公共交通利用時の不満点や改善要望	・公共交通利用者の、公共交通を利用するにあたっての不満や改善揺動を把握	・公共交通を利用している人の不満を分析することで、公共交通の問題点・課題整理やサービス改善策検討の基礎データとして活用
	公共交通非利用の理由	・公共交通非利用者の、公共交通を利用しない理由を把握	・公共交通を利用しない人の公共交通を利用しない理由を分析することで、公共交通の問題点・課題整理や利用促進策検討の基礎データとして活用

表 設問項目と分析の視点等 ( 2 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
公共交通のあり方に対する考え	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通	・各項目に対する必要性を 5 段階評価で把握	・糸島市における公共交通の必要性に対する考えを分析することで、今後の公共交通のあり方検討の基礎データとして活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通		
現在の公共交通に対する評価	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通に対する評価	・各項目について 5 段階評価で把握 「現在の公共交通サービスは、通勤・通学や買物、通院など日常生活の移動に対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、高齢者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、福岡都市圏への移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、観光客等の来街者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「市中心部へのアクセスについて、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 「市中心部内の回遊について、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 そう思う ややそう思う よくわからない あまりそう思わない 全くそう思わない	・現状の公共交通に対する評価を得ることで、今後の公共交通における課題を把握する際の基礎データとして活用 ・また、網形成計画の数値指標の現況値として活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通に対する評価		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通に対する評価		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通に対する評価		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通に対する評価		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通に対する評価		
	市内の公共交通サービスに対する満足度		
その他	その他公共交通に対する意見	・市内の公共交通に対する自由意見を把握	・公共交通に対する市民の意見を分析することで、公共交通の問題点・課題や今後の公共交通のあり方を検討する際の基礎データとして活用

## 5 . 九州大学教職員アンケート調査

九州大学・伊都キャンパスの教職員の移動実態や公共交通に対するニーズを把握するために、九州大学・伊都キャンパスで勤務する教職員のうち、糸島市居住者 200 人を対象としたアンケート調査を実施し、必要な分析を実施する。

なお、調査結果については、公共交通ネットワークの検討、公共交通のサービス水準の検討、糸島市における公共交通のあり方の検討等に活用する。

九州大学教職員アンケート調査の概要案を以下に示す。

[九州大学教職員アンケート調査(案)]

項目	概要	
時 期	10月中旬～11月上旬	
対 象	九州大学・伊都キャンパスで勤務する教職員のうち、糸島市居住者 200 人	
調査方法	九州大学の教職員向けメールシステムの活用による配信・回収	
把握項目	移動特性	・外出目的、外出先と移動手段、外出頻度、外出曜日、外出時間帯 など
	公共交通の利用状況	・公共交通の利用の有無(天候別)、利用機関、移動経路 など
	公共交通に対するニーズ	・公共交通を利用している場合 不満点、改善要望 ・公共交通を利用していない場合 利用しない理由 など
	公共交通に対する考え	・これまでの公共交通に関する取り組みに対する評価 ・今後の公共交通のあり方についての意見 など
	その他	・公共交通に関する自由意見 など
	属性	・居住地、性別、年齢、運転免許・自家用車の保有状況、 など

表 設問項目と分析の視点等 ( 1 / 2 )

把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
市民の通勤状況	居住地	・対象者の居住地を町丁目単位で把握	・居住地と通勤先、現状の交通手段などを分析することで、市民の通勤移動特性を把握する際の基礎データとして活用
	通勤頻度	・通勤先への頻度を把握（非常勤対象）	・利用頻度が高い外出の状況などを分析することで、路線の見直し等を検討する際の基礎データとして活用
	通勤曜日	・通勤する曜日を把握（非常勤対象）	・平日、土曜日、日曜日それぞれの移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	通勤時間帯	・通勤先への出発時間、帰宅時間を把握	・時間帯別の移動需要を分析することで、対応策の具体検討（ダイヤ等）の基礎データとして活用
	最も利用する交通手段	・それぞれの通勤先への交通手段を把握	・居住地と通勤先、現状の交通手段などを分析することで、市民の移動特性を把握する際の基礎データとして活用
公共交通の利用状況、公共交通に対する不満や改善要望	公共交通利用の有無と利用頻度	・直近 1 ヶ月間の公共交通利用の有無を把握 ・公共交通利用者の利用頻度を把握（天候別）	・公共交通利用の有無と利用頻度を分析することで、市民の公共交通に対するニーズを概括的に把握するとともに、サービスの見直し等の重要度を検討する際の基礎データとして活用
	利用する公共交通機関	・前述の通勤時に利用する公共交通機関及び駅・バス停を把握	・公共交通利用者の移動経路を分析することで、市民の移動特性を把握するとともに、乗り継ぎ拠点整備の重要度や鉄道・路線バスなどの幹線系統へのアクセス手段確保を検討する際の基礎データとして活用
	利用駅・バス停までのアクセス手段	・利用する駅・バス停までの交通手段を把握	
	公共交通利用時の不満点や改善要望	・公共交通利用者の、公共交通を利用するにあたっての不満や改善揺動を把握	・公共交通を利用している人の不満を分析することで、公共交通の問題点・課題整理やサービス改善策検討の基礎データとして活用
	公共交通非利用の理由	・公共交通非利用者の、公共交通を利用しない理由を把握	・公共交通を利用しない人の公共交通を利用しない理由を分析することで、公共交通の問題点・課題整理や利用促進策検討の基礎データとして活用

表 設問項目と分析の視点等 ( 2 / 2 )

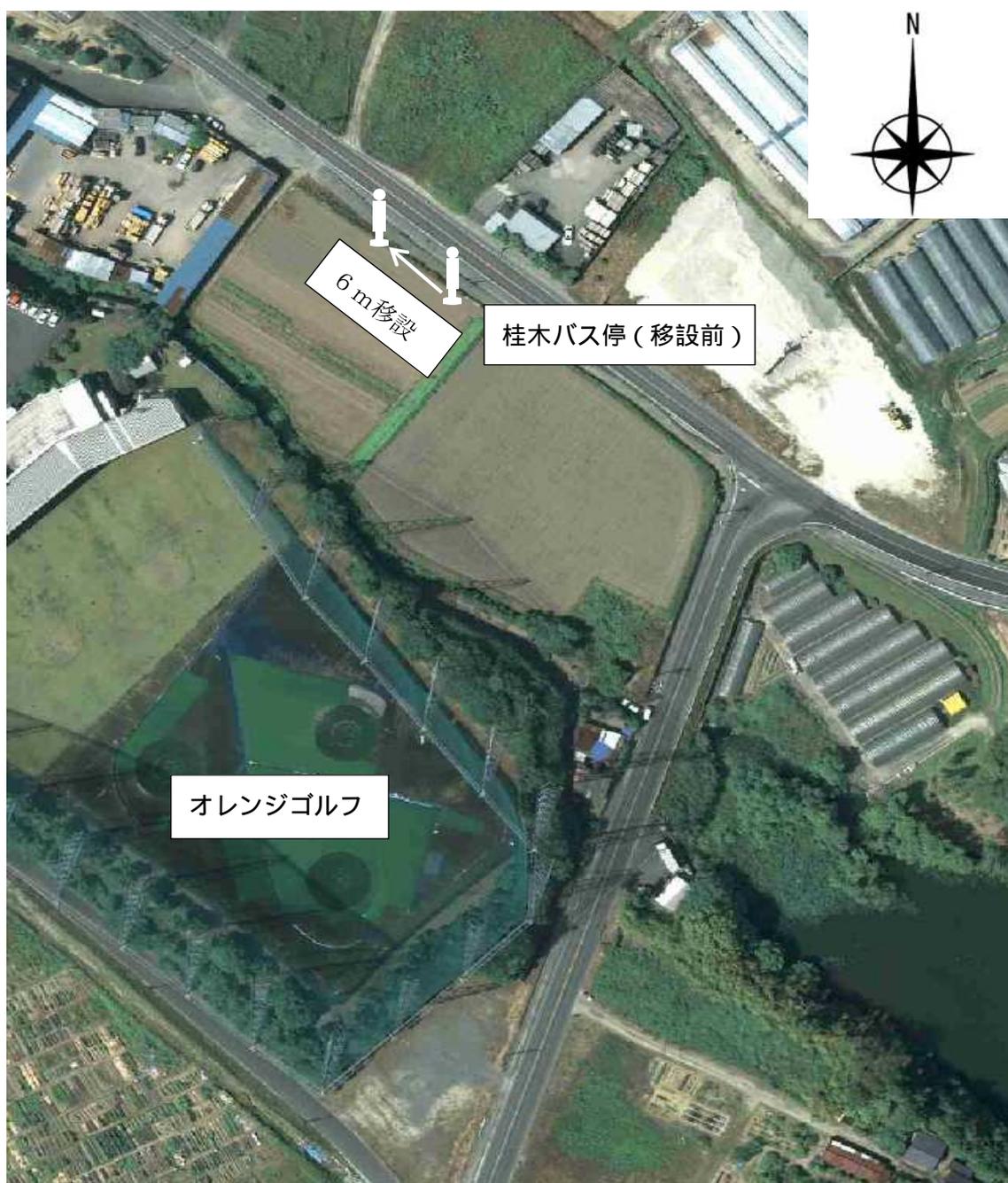
把握項目	設問項目	概要	分析の視点等
公共交通のあり方に対する考え	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通	・各項目に対する必要性を 5 段階評価で把握	・糸島市における公共交通の必要性に対する考えを分析することで、今後の公共交通のあり方検討の基礎データとして活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通		
現在の公共交通に対する評価	通勤・通学や買物、通院などくらしの足を支える公共交通に対する評価	・各項目について 5 段階評価で把握 「現在の公共交通サービスは、通勤・通学や買物、通院など日常生活の移動に対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、高齢者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、福岡都市圏への移動ニーズに対応していると思いますか？」 「現在の公共交通サービスは、観光客等の来街者の移動ニーズに対応していると思いますか？」 「市中心部へのアクセスについて、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 「市中心部内の回遊について、公共交通は利用しやすいと思いますか？」 そう思う ややそう思う よくわからない あまりそう思わない 全くそう思わない	・現状の公共交通に対する評価を得ることで、今後の公共交通における課題を把握する際の基礎データとして活用 ・また、網形成計画の数値指標の現況値として活用
	高齢者のくらしの足を支える公共交通に対する評価		
	福岡市など他市町との円滑な行き来を支える公共交通に対する評価		
	観光客等の来街者の移動を支える公共交通に対する評価		
	市中心部にアクセスしやすい公共交通に対する評価		
	市中心部内の円滑な移動を支える公共交通に対する評価		
	市内の公共交通サービスに対する満足度		
その他	その他公共交通に対する意見	・市内の公共交通に対する自由意見を把握	・公共交通に対する市民の意見を分析することで、公共交通の問題点・課題や今後の公共交通のあり方を検討する際の基礎データとして活用

## 桂木バス停の移設について

九州大学学生寮の建設に際し、現在の「桂木」バス停の位置が車両の出入庫場所となるため、バス停位置を西側に約10m移設するもの。

なお、移設についてはバスカット内での移設のため、バス停車時の車両通行への影響はない。

移設場所	下図のとおり
移設時期	平成28年11月頃
詳細図面	別紙のとおり



# 桂木バス停移設位置図

